令和６年度　第７回裾野市上下水道事業審議会及び答申　会議録及び議事録要旨

日　時：令和７年３月２６日（月曜日）　１５時から１７時まで

会　場：裾野市役所４階４０１会議室

出席者：委員７名（順不同）

・小林　建次　委員（裾野市東地区区長会）

・杉山　孝　　委員（裾野市西地区区長会）

・田中　正延　委員（裾野市深良地区区長会）

・臼井　正明　委員（裾野市富岡地区区長会）

・杉山　幸彦　委員（裾野市須山地区区長会）

・有井　静子　委員（裾野市消費生活団体協議会）

・齋藤　利晃　委員（日本大学理工学部土木工学科教授）（会長）

事務局　７名

・石井水道部長

・大庭上下水道経営課長

・山田上下水道工務課長

・芹澤上下水道工務課主幹

・柏木上下水道経営課係長

・市川上下水道経営課主任

・佐々木上下水道経営課主任

傍聴者：３名

次　第 進行：大庭上下水道経営課長

１　開　会（省略）

２　会長あいさつ（省略）

３　議　事

1. 審議会の公開・非公開について
2. 裾野市水道事業経営戦略（令和7年3月改定版）(案)及び承認について
3. 答申書（案）の最終確認及び承認について
4. 2年間の振り返りについて

答申

令和6年度　裾野市上下水道事業審議会　答申

・会長による副市長への答申書提出

・副市長挨拶

・懇談

【議事１】審議会の公開、非公開について

事務局案を説明し委員質疑なし。下記のとおりとなった。

今回の審議会での議事は、プライバシーに関することや、料金改定に関する話はないので、前回同様、会議は公開、議事録は要旨公開となった。

『議事の要旨』

令和7年3月改定版「裾野市水道事業経営戦略」の承認と答申が主な議題として審議された。事務局より、パブリックコメントの結果と修正内容が報告され、記号の説明追加や最新の経営比較分析表への差し替えが行われた。パブコメでは水道事業に関する意見はなく、下水道に関する意見が1件寄せられたが、経営戦略への影響はなかったため、最終版として承認された。

続いて、残る諮問事項である「水道事業経営戦略改定案と適正な水道料金」「下水道事業経営戦略改定案と適正な下水道使用料」についても答申が承認された。議長は市民意見の重要性に触れ、今後の情報発信の工夫を提案した。

審議会終盤では、委員による2年間の振り返りが行われた。委員からは、下水道計画区域の見直しの意義や、簡易水道事業の課題、職員の高齢化と技術継承の懸念、料金改定の必要性と市民理解の重要性など、多岐にわたる意見が寄せられた。

特に、職員不足と技術継承に関する懸念が多く、若手技術者の確保や広報活動の強化、住民参加型のインフラ維持の必要性が強調された。議長からは、住民によるインフラ監視の可能性や、漏水検知に犬を活用する海外事例の紹介があり、今後の市民協働の可能性が示唆された。

審議会は、上下水道事業の持続可能性と市民理解の促進に向けた方向性を確認し、閉会した。

４　その他

部長より審議会へのお礼

水道部職員異動に伴う新旧職員によるあいさつと御礼

５　閉　会

以上